

信頼を支える品質管理の新拠点「青島QCセンター」開設

当社は現在、良品を納期通りに確実に納めするという「当たり前」を徹底し、多様なニーズに応えるスピードと高いクオリティを両立させるべく、生産・品質管理(QC)体制の抜本的改革を進めています。

改革の柱は、生産管理部門とQC部門の統合です。個人の経験に依存しがちだったノウハウを組織全体で仕組み化し、客観性を担保した厳格な「タキヒヨー目線」での品質コントロールを徹底することで、お取引先さま、ひいては消費者の皆さまの信頼を強固なものにするのが目的です。また、生産管理とQCの視点の双方を併せ持つことで、生産に入る前の工場選定段階からのリスク管理が可能となります。

さらに、より高い水準の生産・品質管理体制を実現するため、国内と海外で役割を明確に分けています。国内QCがお取引先さまからの要望を的確に捉える「司令塔」となる一方、海外QCは生産現場で商品と直接向き合い、日本の厳しい基準を現地で具現化します。

この体制強化の一環として、当社商品の生産枚数の約半数を担う生産協力工場の拠点である中国・山東省地区の青島に「青島QCセンター」を新設しました。生産現場に近い新拠点で、自社現地スタッフが迅速に品質を管理することで、確実な生産・品質管理体制とスピーディな納期対応の高度な両立を実現します。

「安心・安全」を守り抜く強固な体制こそが当社の競争力であり、これを通じた信頼獲得が、タキヒヨーのさらなる成長を力強く牽引していきます。



大連QCセンターでのタキヒヨー基準による検品が、「安心・安全」を守っています。



新設した青島QCセンターでの研修の様子



タキヒヨー大連QCセンターのスタッフが生産協力工場を訪れ、直接対話しながら縫製や品質のチェックを実施、改善指導も行います。

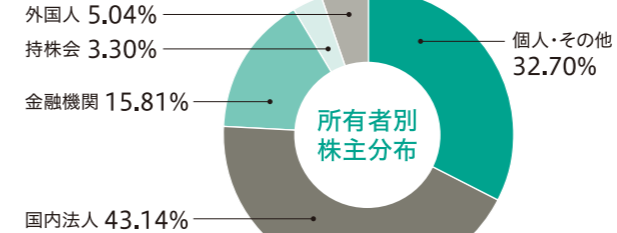
株式の状況 2026年2月末日現在

発行済株式の総数

8,800,000株
(うち自己株式312,265株)

株主数

5,954名

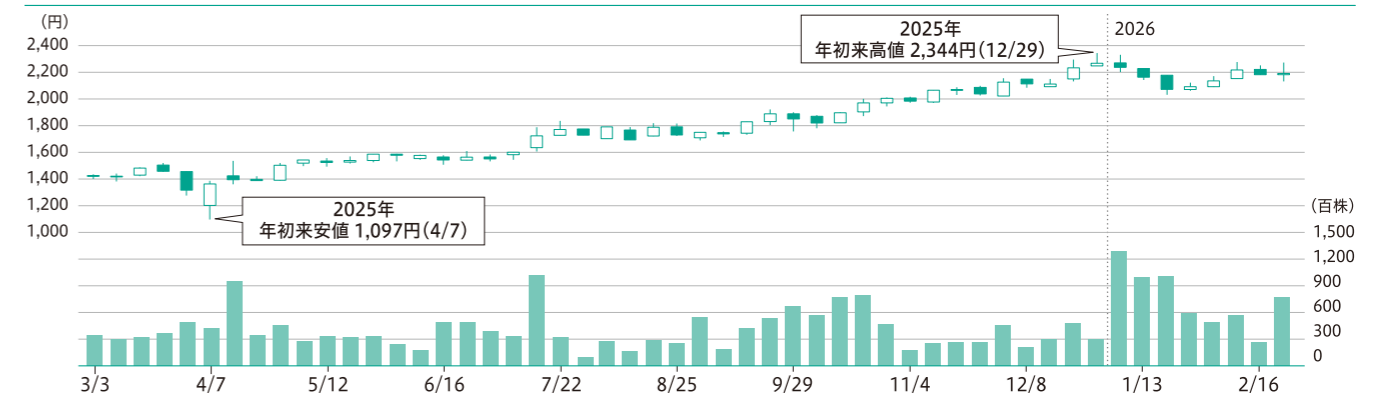


大株主一覧

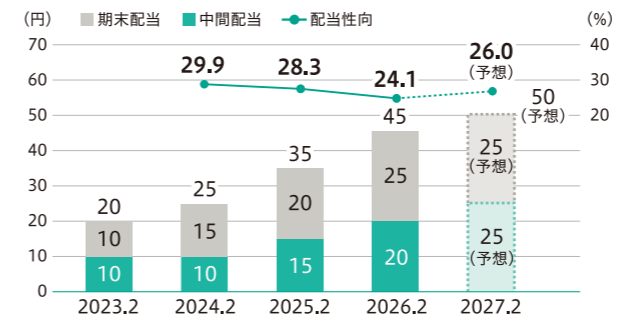
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社キョクヨーホールディングス	2,400,000	28.27
株式会社旭洋興産	420,600	4.95
立花証券株式会社	282,000	3.32
LIM JAPAN EVENT MASTER FUND	270,200	3.18
株式会社三菱UFJ銀行	258,288	3.04
タキヒヨー取引先持株会	216,564	2.55
日本生命保険相互会社	164,992	1.94
滝茂夫	121,200	1.42
三井住友信託銀行株式会社	120,000	1.41
第一生命保険株式会社	120,000	1.41

※当社は自己株式を312,265株保有しておりますが、上記上位10名の株主から除いております。
※持株比率は自己株式を控除して計算し、表示未満の端数を切り捨てて表示しております。

株価・売買高の推移(2025年3月～2026年2月)



株主還元



※当期純利益がマイナスになった期は、配当性向を記載しておりません。

2027年2月期 配当予想

■ 中間 1株当たり **25円** ■ 期末 1株当たり **25円**

当社は、長期的な経営基盤の確立のため、財務体質の強化に努めるとともに、配当についても株主の皆さまへの利益還元を経営の重要課題の一つと考えております。さらに、積極的かつ安定した配当を継続するとともに、内部留保を充実することなどを勘案し配当を行うことを基本方針としております。